

本を読むときも、著者の考えをそのまま無批判に受け入れ、その内容について自分では考えないで他の人に伝えるのでは本を読む意味はありません。

「意味はありません」を、

- **It is meaningless to DO 「DO するのは意味がない」**

を想定すると、「本読むときも、」と、「著者の考えを～伝えるのでは」の部分が修飾語になりそうです。順番に表現していきます。

A. **本を読む意味はありません。**

- It is meaningless to DO 「DO するのは意味がない」

で、【**意味のない行為**】である DO は、日本語を参考にすると「本を読む」です。

- S read A 「S read A」

を使います。「読んでいる対象」である「本」は、【**よくあること**】という解釈を引き延ばして、【**たくさんある**】というイメージから、複数形である **books** としてもいいと思いますし、【**とある本を読むとき**】というイメージを前景化して **a book** でもどちらでもいいと思います。ここでは **a book** を採用しています。

- (1) **it is meaningless to read a book**

B. 著者の考えをそのまま無批判に受け入れ、その内容について自分では考えないで他の人に伝えるのでは

全体が、(1)を修飾しています。修飾表現はつなぎの語句からですね。

(a) (S) (V) するのでは

日本語は、修飾表現の末尾につなぎの語句が来ることが多いので、それを参考に日本語を見ると、「のでは」があります。イメージ的には、

- **【無批判に受け入れ、考えないで他の人に伝える】【⇒】【意味がない】**です。【⇒】で結べ、さらに**【そうでない場合】**を想定してるならば、
- **if (S)(V) 「もし(S)(V)なら」**

を使います。**【無批判には受け入れず、考えないで他の人に伝えるわけではない場合】**も想定していますね。難しい発想だったと思いますが、時々使うので、よく覚えておきましょう。それでは if で話を勧めます。

(2) if (S)(V)

(b) 著者の考えをそのまま無批判に受け入れ、その内容について自分では考えないで他の人に伝える

if (S)(V)の(S)(V)は、ここでは2つあるようです。日本語にすると「著者の考えを～受け入れる」と、「その内容に～伝える」です。それぞれを英語で表し、and でつなぎ、最後に if (S)(V)の(S)(V)に入れていきます。

a. 著者の考えをそのまま無批判に受け入れ、

述語は「受け入れる」を参考にして、**accept** が浮かびました。

▪ S accept A 「S は A を受け入れる」

です。【受け入れる主体】である S は【一般の人】です。we でも people でもいいと思いますが、ここでは **you** を使います。【受け入れる内容】である A には、日本語を参考に、**the author's ideas** が入ります。「著者」である **author** は、【前述している a book の著者】です。【読み手が特定できそう】なので **the author** にしています。そしてその「考え」は一つではないので複数形にしています。

(3) **you accept the author's ideas**

そのまま無批判に

ぱっと浮かぶ表現ではないですが、**critical** 「批判的な」が浮かべば、それをひねって、**critically** 「批判的に」、さらにこれをひねって **uncritically** にすることが、もしかしたらできるかもしれません。そして【無批判】であれば【そのまま】なはずなので、「そのまま」は訳出しないことにしました。

(4) **you accept the author's ideas uncritically**

しかし!!! 受験生にはこれはなかなか難しい判断だとおもいます。参考までに別の発想も示したいと思います。それを実現するために、「そのまま無批判に」をもうちょっと広げてイメージしてみました。

そうすると、いくつかある「著者の考え」を、【端から端まで受け取っている】感じがしました。これは、【数が全部】というよりも、【内容が全

部】というイメージですが、いずれにしても **all** で表せそうです。

▪ **all A 「A 全部」**

で、**A** は **the author's ideas** なので、**the author's ideas** の前に **all** を置くことにしました。

(5) **you accept all the author's ideas**

これも相当難しかったですね。できなくても、気にしないでくださいね。

b. その内容について自分では考えないで他の人に伝える

言葉で表す内容を伝える場合、**say** が浮かんできますが、

▪ **S say A 「S は A を言う」**

という使い方、「内容を言う」だけでは、【**伝わってない**】可能性が心配になりました。【**伝えている**】感じでよく使うのが **communicate** です。今回はこれを使います。

▪ **S communicate A to B 「S は A を B に伝える」**

という用法です。【**伝える主体**】である **S** には、【**一般の人**】なので引き続き **you**、【**伝えられる側**】である **B** には、原文の「他の人」を参考に **others** を入れておきます。

(6) **you communicate A to others**

【**伝える内容**】である **A** は、日本語を参考にすると「その内容」です。**its contents** を使ってもいいのですが、**what** を使って、**what is written** でもいいと思います。ここでは前者を使っていきます。

(7) **you communicate its contents to others**

自分では考えないで

修飾語はつなぎの語句からです。末尾を見ると「ないで」があります。

▪ **without DOING 「DOING しないで」**

を使います。【**しない行為**】である DOING には、日本語を参考にして、**think** を入れます。

▪ **S think of A 「S は A を考える」**

ですね。【**考える内容**】である A には「その内容」です。2 回目なので **them** を使います。

「自分で」が残りました。知識的には **by yourself** も **for yourself** もそれほど差がないのですが、【**思考する**】系統を修飾するときには **for yourself** を使う傾向があります。この選択は、ちょっと難しかったかもしれませんね。

(8) **you communicate its contents to others without thinking of them for yourself**

c. **a. + b.**

予定通り、(5) **you accept all the author's ideas** と(8)を **and** でつなぎます。

(9) **you accept all the author's ideas and you communicate its contents to others without thinking of them for yourself**

(c) (a) + (b)

予定通り、**(a)**に**(b)**でできたものを組み込みます。

(6) if you accept all the author's ideas and you communicate its contents to others without thinking of them for yourself

C. A. + B.

並べます。if (S)(V)は、それが修飾する主節の前に置いても後ろに置いてもいいのですが、後ろに置くことにします。

- (7) **It is meaningless to read a book if you accept all the author's ideas and you communicate its contents to others without thinking of them for yourself.**

Model Answer

It is meaningless to read a book if you accept all the author's ideas and communicate its contents to others without thinking about it for yourself.